

第8回 原子力災害対策本部会議 議事概要

1. 日時

平成23年3月15日（火） 12:53～13:14

※開始時間は、原子力災害対策本部の議事に入った時間。

2. 場所

官邸4階大会議室

3. 構成員等

本部長：菅直人内閣総理大臣

副本部長：海江田万里経済産業大臣

本部員：片山善博総務大臣・内閣府特命担当大臣（地域主権推進）・地域活性化担当、松本剛明外務大臣〈代理：伴野豊外務副大臣〉、野田佳彦財務大臣、高木義明文部科学大臣、細川律夫厚生労働大臣、鹿野道彦農林水産大臣、大島章宏国土交通大臣・海洋政策担当、松本龍環境大臣・内閣府特命担当大臣（防災）、北澤俊美防衛大臣、枝野幸男内閣官房長官・内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）、中野寛成国家公安委員会委員長・公務員制度改革担当・拉致問題担当、伊藤哲朗内閣危機管理監

その他：江田五月法務大臣、自見庄三郎郵政改革担当・内閣府特命担当大臣（金融）、蓮舫内閣府特命担当大臣（行政刷新、消費者及び食品安全）・節電啓発等担当、玄葉光一郎国家戦略担当・内閣府特命担当大臣（「新しい公共」、科学技術政策）・宇宙開発担当、与謝野馨閣府特命担当大臣（経済財政政策、少子化対策、男女共同参画）・社会保障・税一体改革担当 等

※緊急災害対策本部（全国務大臣で構成）と連続開催のため、本部員以外の閣僚も原子力災害対策本部に出席。

※本部員ではないが、本部会合には原子力安全委員会委員長が出席する。

4. 配布資料

- ・福島第1原子力発電所避難等について（原子力災害対策本部）
- ・第1、2原発及び第1原発10km内の避難状況
- ・福島第一原子力発電所2号機の状況について（経済産業省）
- ・現地モニタリング情報（2011/3/15 7:59）
- ・市町村名・人口
- ・防災上の留意事項（気象庁）
- ・平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震について（第12報）（環境省）

※上記資料については、緊急災害対策本部と同時開催のため、一部資料が重複している可能性あり。

5. 議事概要

○枝野幸男内閣官房長官から第10回緊急災害対策本部及び第8回原子力災害対策本部の開会を宣言。

○菅直人内閣総理大臣より下記のとおり挨拶。

- ・原子力関係は後の会議に譲ることとして、地震発生から5日目を迎えた。多くの方が被災され、そして多くの方を救出してきたが、残念ながら多くの方が亡くなられ、行方不明となっている。これからも救出・救済活動を続けていくが、一方では避難所等におられる多くの方々の手当に段々と比重を移していかなければならない。
- ・今朝の閣議でも話があったように、たいへん大きな地震であるために、色々な物資等を捌く体制を、松本大臣の下で進めていただいているが、さらに強力に推し進めなければならない。こういう場合、組織力を持っている自衛隊が中心となって、情報、あるいは移動を含めて持っている自衛隊に中心を担っていただくことがもっとも有効ではないか。指揮をする防衛大臣に対して、松本大臣から自衛隊としてやって欲しいと伝えるのか、やり方は両大臣にお任せする。多くの方が寒い中で、食べ物・水・毛布・そして燃料を待っている。そうした皆さんに対する手当に全力を挙げていただきたい。
- ・この活動の中で既にケガをされている方も出ているが、なんとしてもここは、国民の皆様の生命を救うと同時に、しっかりした救済を推し進めるために、皆様の努力や、ケガをされた方にはお見舞い申し上げると同時に、それを乗り越えて頑張り抜くという覚悟を改めて高めようということをお願いして、私からの挨拶とさせていただきます。どうか一層頑張ってください。

(菅直人内閣総理大臣の挨拶に続き、第10回緊急災害対策本部の議事が行われた。記載略。)

○枝野幸男内閣官房長官から、第10回緊急災害対策本部に続いて、第8回原子力災害対策本部の議事に入る旨案内。

○海江田万里経済産業大臣から原子力発電所の現状について報告。

- ・福島第一原子力発電所2号機では、これまで、原子炉の圧力容器内の圧力を下げ、注水により炉心の冷却に努めてきた。
- ・今朝、6時14分頃、福島第一原子力発電所2号機の圧力抑制室付近で異音が発生し、圧力抑制室の圧力が低下したとの連絡を東京電力より受けた。原子炉格納容器の圧力抑制室に何らかの異常が生じたものと思われる。
- ・他方、原子炉圧力容器内の圧力等の各種指標からは、原子炉圧力容器の健全性は維持されていると考えられる。
- ・また、4号機でも9時40分に原子炉建屋3階で火災が発生したとの報告があり、消火活動が続けられている。
- ・現在、周辺の放射線濃度が上昇し、一部には非常に高い数値も観測されている。引き続き、発電所の状況を示す、各種指標を注視するなど、安全の確保に向け、最大限の努力をしていく。

○菅直人内閣総理大臣から「東電との統合本部を設置した。福島第一で20kmの避難がほぼ完了、20～30kmは自宅避難を指示。福島第二の10kmも済み。水道、食料、農産物への影響について。濃度のモニタリングをしっかりと行ってもらいたい。これを踏まえてどう対応するか、至急各省で検討して欲しい。」との発言。

○高木義明文部科学大臣から「文科省によるモニタリング車は6台追加投入している。20km境界、24時間稼働で結果は速やかに公表する。各都道府県のモニタリングポストで調査頻度を上げるよう要請済み。15日正午現在で5マイクロ以上はない状態。」との発言。

- 枝野幸男内閣官房長官から「せめて公表の5分前に知らせて欲しい。」との発言。
- 鹿野道彦農林水産大臣から「食品の放射性物質の基準を決めて欲しい。」との発言。
- 片山善博総務大臣から「実務オペレーションのリーダーは誰か。東電の要望への対応や、各省への協力要請に関連して、私のところにも様々な要請や依頼が入るが、趣旨のわからないものが多い。それは何のためかと聞いても「わからない」という回答がある。消防活動への要請も断片的かつ子供っぽい印象だ。実務的オペレーションの統率がとれていない。誰が中心になっているのか。中心は地下のセンターでいいのか。」との発言。
- 菅直人内閣総理大臣から「総理室隣の部屋でやっている。生データの90%は東電。今、経産大臣と細野補佐官を張り付けている。しかし、やりとりの歯車がまだうまく回っていない。」との発言。
- 北澤俊美防衛大臣から「自衛隊でもモニタリングを行う。モニタリングのポイントを調整しよう。」との発言。
- 中野寛成国家公安委員長から「警察も動いている。」との発言。
- 高木義明文部科学大臣から「モニタリングは一緒になって行い、そして公表すること。」との発言。
- 枝野幸男内閣官房長官から「単位揃えてモニタリング数値を。」との発言。
- 枝野幸男内閣官房長官から閉会を宣言。

以上

※本議事概要は各種資料等を元に、2012年3月1日に整備。